

宮城県 令和 7 年度障害者アート作品を通じた相互理解促進業務

障害者アート活用事例発表会開催のご案内

県内アーティストの作品を企業の商品や広報へ活用した 3 社の事例を紹介
二次利用の課題と可能性を考え、アーティストの活躍の場を県内全域へ拡大する

三恵商事株式会社 Sankei shouji co.,ltd

SODOSHA



WONDER ART

Social Village

多夢多 夢舎中山工房

拝啓

貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

宮城県では、「障害を理由とする差別を解消し障害のある人もない人も共生する社会」を推進しています。その取り組みの一環として、障害者アートの発表や交流イベント等の開催、障害の有無にかかわらず県民が交流する機会、県民が障害者アート作品に触れる機会の創出をしております。

本発表会では県内障害者アーティストの作品を商品や広報媒体に採用した企業 3 社の事例をご紹介します。単なる事例紹介に留まらず、実際に活用に携わった企業・障害者支援団体、そしてファシリテーターを交え、「障害者アート活用の課題や可能性」についてディスカッションを行います。これらの対話を通じ、今後活用を検討する企業様へのヒントを提示し、アーティストのさらなる活躍の場が拡大することを目指します。

つきましては、下記の通り、障害者アート活用事例発表会を開催いたしますので、時節柄ご多忙とは存じますが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

敬具

— 記 —

- 日 時：2026 年 1 月 29 日（木）／14：00～15：30 （受付開始 13：30）
- 場 所：宮城県仙台市青葉区大町一丁目 1 番 30 号 新仙台ビルディング 1F「CROSS B PLUS」
- 式次第：【主催者挨拶】宮城県保健福祉部障害福祉課長 野呂英樹
【取り組み発表会】
（登壇者予定）
 - ・三恵商事株式会社／NPO 法人ワンダーアート 各代表者様
 - ・株式会社創童舎／ソーシャルビレッジワークス 各代表者様
 - ・株式会社カネタ・ツーワン 代表者様
- 活用事例：三恵商事株式会社×NPO 法人ワンダーアート 「ユニフォーム」
株式会社創童舎×ソーシャルビレッジワークス 「50 周年ロゴ」
株式会社カネタ・ツーワン×多夢多夢舎中山公房 「牛たんシチューカレー パッケージ」

＜お申し込み方法＞

右側の二次元コードを読み取っていただき、フォームにてご入力いただくか別紙のご出欠確認用紙の内容をご記入の上、FAX またはメールアドレス宛てに 1 月 26 日（月）12 時までにご返信いただければ幸いです。



～本件に関するお問い合わせ～

【宮城県障害者アート作品を通じた相互理解促進業務事務局】

e-mail：info@art-art-week.jp

TEL：022-214-2137 担当：赤坂、齋藤（拓）、鈴木

障害者アート活用事例発表会

ご出欠確認用紙

■日 時：2026 年 1 月 29 日（木）／14：00～15：00（受付開始 13：30）

■場 所：宮城県仙台市青葉区大町一丁目 1 番 30 号 新仙台ビルディング 1F「CROSS B PLUS」

FAX：022-214-7556
Mail：info@art-art-week.jp

お忙しい中大変恐縮ですが、下記の項目にご記入の上、**1 月 26 日（月）12 時**までに FAX もしくはメールにてご返信いただきますよう、お願い申し上げます。

下記のいずれかにチェックをいれ、必要事項をご記入ください。

☐ご出席 ☐ご欠席

御社名：

御芳名：（代表者）

ご連絡先：TEL - - Email

※当日にご連絡がつく携帯電話等の番号をご記入ください。

出席人数：計 _____ 名

名刺を貼付して頂いても結構です

<ご注意事項>

1) 当日はメディアの取材が入る場合があります。予めご了承ください。